

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和5年度

市町村名	ときがわ町		
提案事業名	ときがわ町大附地区活性化促進事業		
事業期間	令和5年度	～	令和5年度
事業の必要性、目的	ときがわ町は首都圏の北西約60km、埼玉県のほぼ中央に位置しており、町の西端に連なる奥武蔵の山々を源とする清流が、美しい景観の中を流れ下る豊かな自然環境に恵まれた中山間地域である。 これまで町では四季の織りなす花や歴史、伝統文化とともに、首都圏から利便性の高い交通アクセスなどを活かしつつ、行政主導による地域振興施策の一環により郷土料理や宿泊などの体験施設、農林産物の直売施設、天然温泉の温浴施設などの整備を進めてきた。 こうした取り組みが実を結び、平成27、28年度に観光入込客は100万人を超えたが、コロナ禍を契機に観光入込客数は大きく落ち込んでいる。同時にこれまで地域雇用を支えてきた施設の運営団体においては高齢化が進行し、地域振興の担い手不足が危惧される状況を招いている。 こうした現状を打開するため、「いこいの里大附（そば道場）」「大附みかん山」「弓立山山頂」といった観光スポットが点在するときがわ町大附地区において、新たな観光の見どころやコンテンツを整備するとともに、既存の観光資源をさらに磨き上げ、地域住民と新たな地域振興の担い手の共働を促進することで、地域経済の活性化及び観光入込客数の増加を図る。		
成 果 指 標	(成果を検証する指標) ・「いこいの里大附」(町有施設)年間来場者数 ・地域資源を活用した新製品の販売実績		
	(成果検証の具体的な方法) ・「いこいの里大附」のそば打ち体験指導コンテンツを制作し誘客を図る。 ・低山ハイキングや観光スポットの案内人を育成し、観光客の満足向上を図る。		
	(上記の指標を設定した理由) 町の観光スポットが面的に点在する大附地区において、新たな観光の見どころやコンテンツを整備するとともに、既存の観光資源をさらに磨き上げ地域の魅力を更に高めることで、地域住民と新たな地域振興の担い手の共働を促進し、地域経済の活性化及び観光入込客数の増加を図る。		
	(成果の目標値)		
	現状値 (R4年11月現在)	8,625 人/年間	目標値 (R6年度以降) 11,000 人/年間
	(施設建設等の場合)		
	年間利用者数(目標) (人)	案分	稼働率(目標)(%)
住民への公表方法及び特記事項		町ホームページにより公表する。	

【成果指標と構成事業の関連性】

令和5年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
①	ときがわ町大附地区活性化促進事業	ハードソフト間接補 観光客の利便性と安全性を確保し、満足度の向上を図るため、弓立山展望広場整備及びトイレ整備を実施する。同時に観光案内板を山頂に設置する。	33,566,600
②		ハードソフト間接補	
③		ハードソフト間接補	
④		ハードソフト間接補	
⑤		ハードソフト間接補	
合計			33,566,600

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための 具体的な方策	「いこいの里大附」のそば打ち体験を充実させるとともに、弓立山山頂を中心とするハイキングコースを整備し、ハイキングマップ及び町ホームページ等で情報発信する。
成果指標の達成見込み	行政、関係団体（いこいの里大附管理運営委員会、大附地区、大附みかん山保勝会、中山間「ふるさと支援隊」、町内製造業者、地域おこし協力隊）、住民相互の連携により達成できると判断する。